



株式会社 クシム

**2021年10月期**  
**第3四半期 決算説明会資料**

2021年9月10日

## 1. 連結業績ハイライト

1. eラーニング事業
2. アカデミー事業
3. インキュベーション事業

## 2. 2021年度 連結業績の見通し

## 3. MSSOによる資金調達

## 4. 株式会社CAICAの株式交付による連結純資産の増加（見通し）

## 5. 株式会社FLOCの固定資産取得の件

# 連結業績ハイライト

各事業セグメントの業績は堅調  
アカデミー事業も黒字化し、かつ、業績好調を継続  
インキュベーション事業は成長基調にある

eラーニング事業

売上高順調に増加

成長基調に  
変化はなし

アカデミー事業

EBITDAは伸長

黒字継続

インキュベーション事業

EBITDAは黒字

利益率は向上

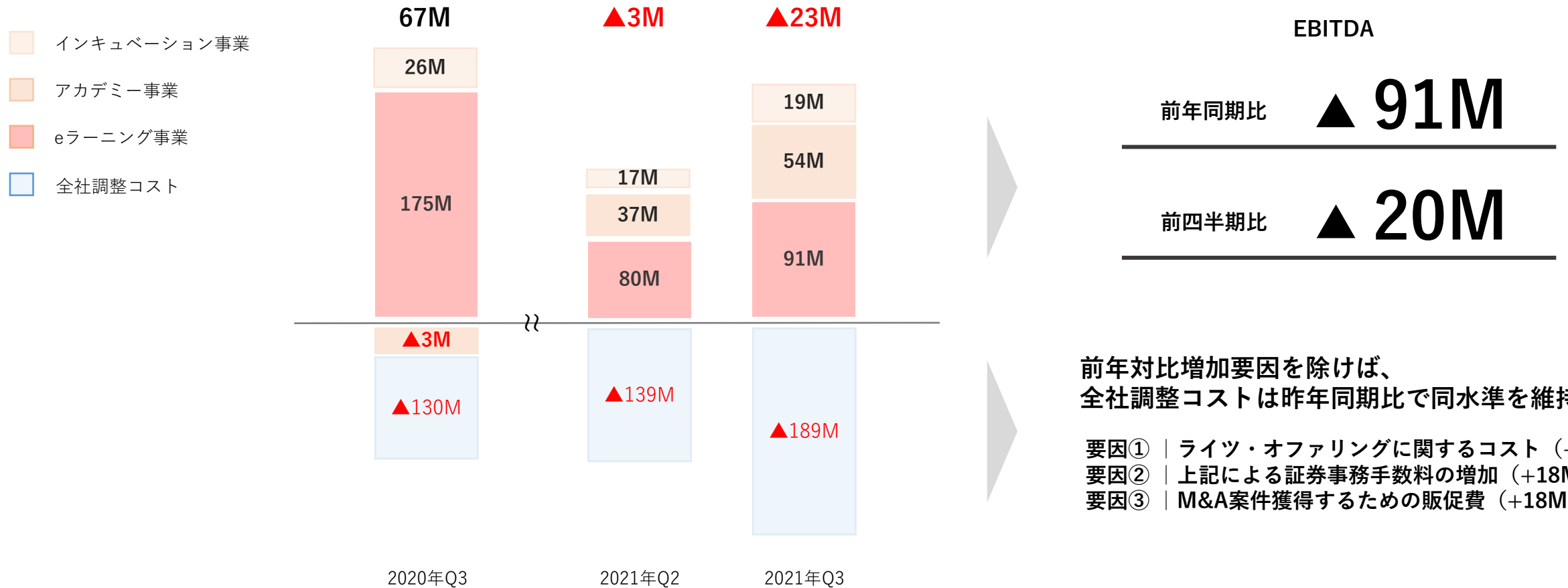
注.1) 前年会計期間との対比をしております。

## トップラインは前年対比は伸長となるも 先行投資の計上にて各収益指標は赤字にて着地

| (百万円)  | FY20.3Q<br>連結 (実績) | FY21.3Q<br>連結 (実績) | 前年対比 |
|--------|--------------------|--------------------|------|
| 売上高    | 1,297              | 1,378              | 106% |
| EBITDA | 67                 | △23                | -    |
| 営業利益   | 1                  | △95                | -    |
| 経常利益   | 5                  | △75                | -    |
| 当期純利益  | 126                | △98                | -    |

注) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

# 各事業のEBITDAは前期比で伸長も、大きくは成長せず Q1に実施した成長投資に起因し、EBITDAはマイナスにて着地



# 十分な手元流動性を積極的な成長投資へ 引き続き、財務基盤は安定水準にある

| 連結BS (FY21.Q3) |       |      |              |       |      |
|----------------|-------|------|--------------|-------|------|
| (百万円)          | 金額    | 構成比  | (百万円)        | 金額    | 構成比  |
| 流動資産           | 1,891 | 54%  | 流動負債         | 284   | 8%   |
| 有形固定資産         | 13    | 0%   | 固定負債         | 345   | 10%  |
| 無形固定資産         | 295   | 8%   | 負債合計         | 630   | 18%  |
| 投資等            | 1,290 | 37%  | 純資産          | 2,860 | 82%  |
| 資産合計           | 3,490 | 100% | 負債・純資産<br>合計 | 3,490 | 100% |

**流動比率**  
**664%**  
**負債比率**  
**22%**  
**自己資本比率**  
**81%**

参照) 2021年第3四半期決算短信  
 注) 百万単位以下については、切り捨て表記としています

# eラーニング事業の概況



# LMSはオンプレ・カスタマイズ案件の受注継続・堅調 積極的に事業の選択と集中を実行



## ■ iStudy LMS

新型コロナウイルスの影響にて導入を控えていた企業の具体的な検討や導入が進み始める

既存クライアントの利用方法の変化などからオプションの追加導入などが旺盛



PC  
スマホ  
タブレット  
一部開く

## ■ SLAP

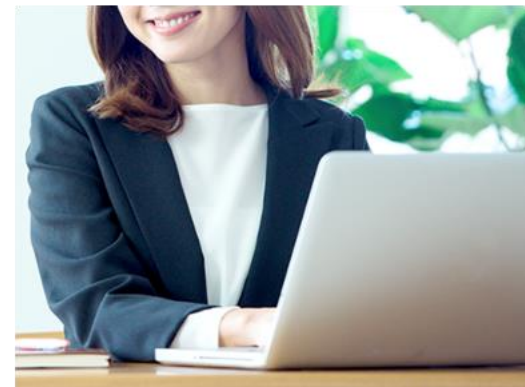
企業における自学習（eラーニング）ニーズから新規注文が伸長  
他社のLMSやeラーニングシステムからのリプレイス案件の受注が堅調

バージョンアップデートを継続



## ■ イベント・スタジオ（廃止）

FY21.6末にて事業廃止



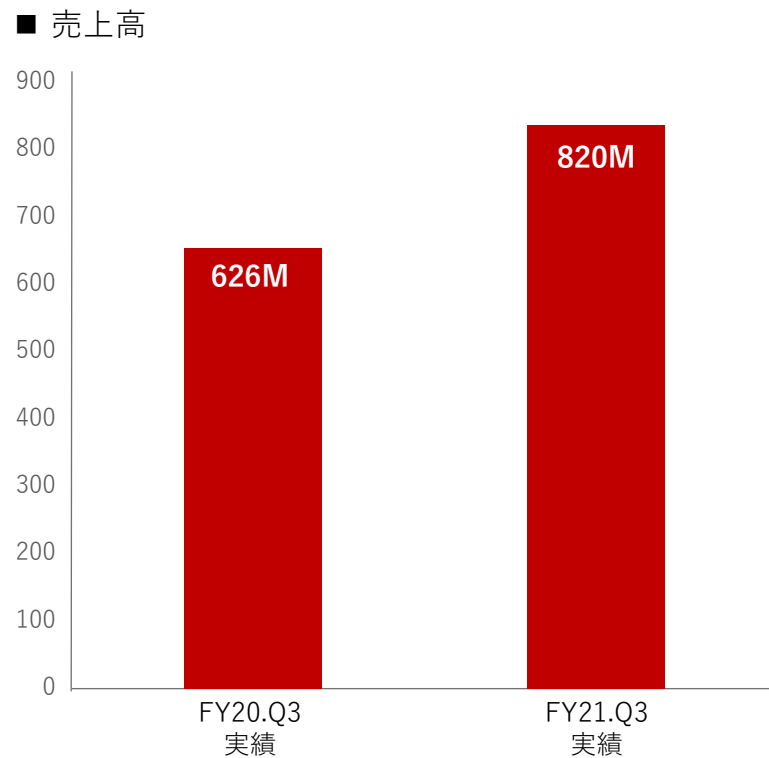
## ■ ラーニング・コンテンツ

集合研修の需要が回復せず

先端技術系のeラーニングコンテンツの需要が増加

オーダーメイドの制作案件の受注は堅調に推移

# 追い風に乗り、売上高は大きく伸長 M&Aしたイーフロンティアの業績もフル寄与



前年比  
**+1.93** 億円

伸び率  
(前年同期比)  
**+131%**

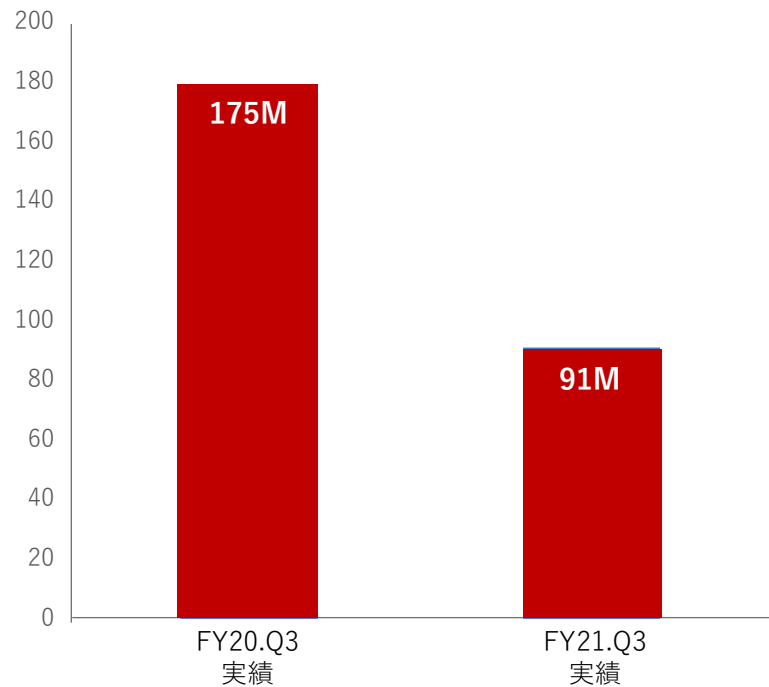
注.1) 売上高 = LMS収入 + ラーニングコンテンツ収入 + スタジオ収入

注.2) イーフロンティア実績が寄与

参照) 2021年第3四半期決算短信

# EBITDAの伸びは鈍化も、来期移行を見据え、さらなる成長への打ち手を着実に講じている

■ EBITDA

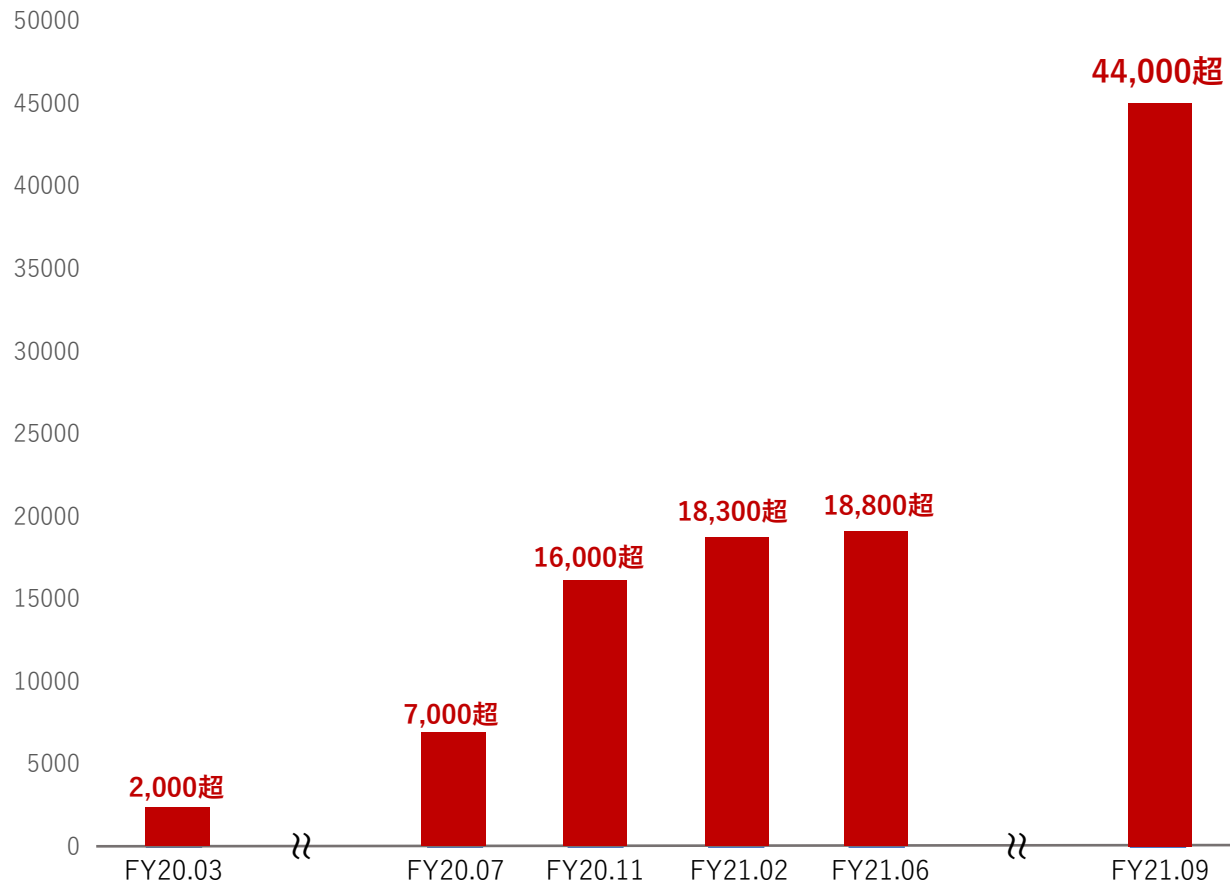


■ 前年同月比実績とのギャップ内訳  
 昨年に受注したコンテンツ案件にて  
 単年度実績のEBITDA寄与分（66M）が消滅

前年同期比 ▲ **0.84** 億円

注.1) 売上高 = LMS収入 + ラーニングコンテンツ収入 + スタジオ収入  
 注.2) イーフロンティア実績が寄与  
 参照) 2021年第3四半期決算短信

# SLAPのユーザーID数は、リプレイス案件の受注が継続しており、大幅な伸びを記録中



2020年3月から2021年9月時点まで

ユーザーID  
伸び数 **20** 倍超

新規開拓の施策が成果に結びつく  
リプレイス案件の継続した受注もあり、  
引き続き、ストック収入の源泉を伸ばしていく

# アカデミー事業の概況

## 各サービスラインが好調 本セグメント業績は堅調に成長



### ■ ITエンジニアの高度化

有料職業紹介サービスは継続

ただ、新型コロナウイルスの影響を受けて需要消滅（採用の見合わせなど）

eラーニング事業とのシナジー  
最大化に注力



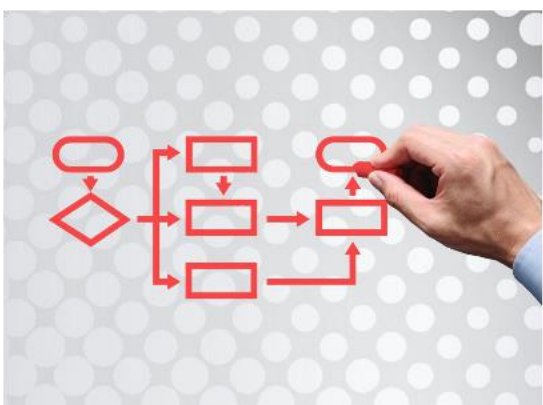
### ■ SES

SESはV字回復

各月単月黒字化を継続達成

営業面でシナジーを追求  
エンジニア稼働率は大幅に改善

ロー・コストオペレーションを  
継続強化



### ■ 受託開発／セキュリティ

大型のプロジェクトを複数受注  
受注マージンの高い案件に注力

セキュリティコンサルティングは  
SLAPとの営業シナジーを追求

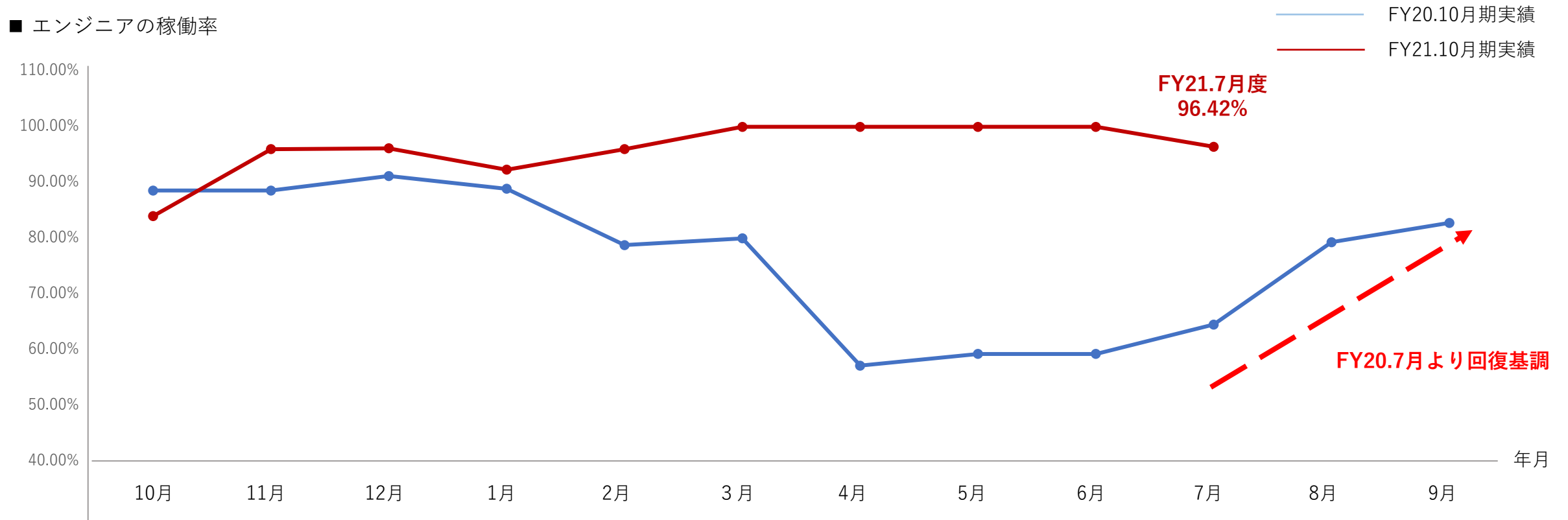


### ■ 介護DX

ケアオンライン（ASPサービス）  
の保守業務を島根事業所に集約

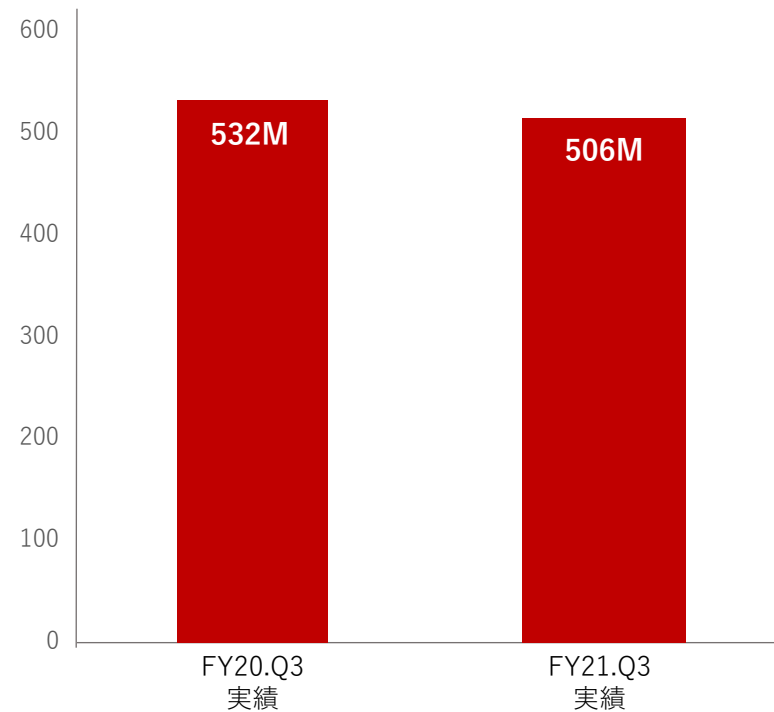
介護事業者向けにIT総務サービス  
を展開

# エンジニア稼働率は目標水準である96%以上を維持 プロジェクト再開の声が優先的にかかる好循環を継続



# 不採算事業会社の清算・プロジェクト終了の影響により減収 通期では売上高は底堅く成長する見通し

■ 売上高



## SES / 受託開発案件の受注が好調

- SES単価の見直しによる増収 (FY21.04)
- 受託案件のマージン見直しによる増収 (FY21.06)
- 受託案件の積み増し (FY21.06)

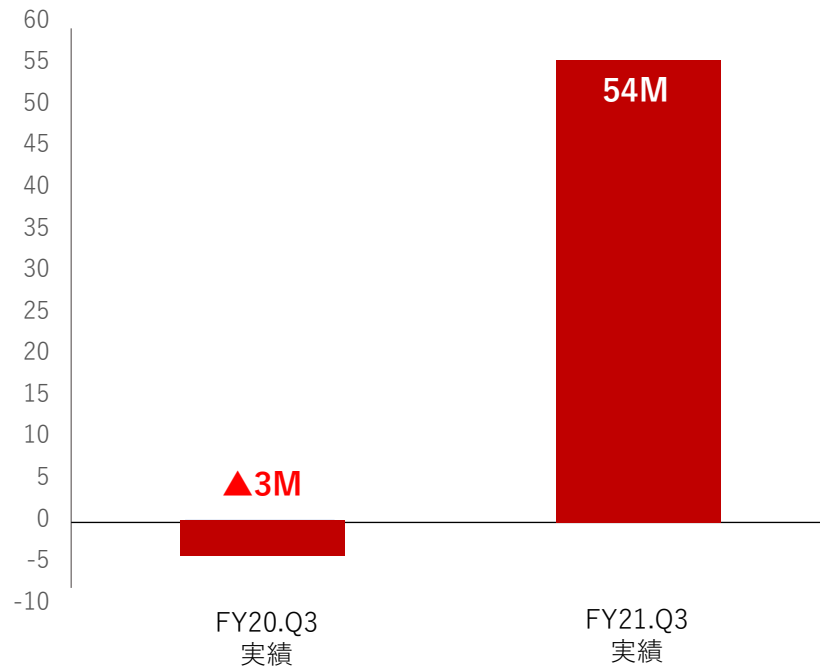
## トップラインは前年同期比でほぼ同額も 高マージンの案件を獲得

- EBITDA/売上高は約11%へ (FY21.Q3)



# ビジネスモデルをしっかりと改善し、EBITDAは伸長 正味のキャッシュフロー創出力はいっそうに向上

■ EBITDA



前年同期比

**+58**百万円

伸び率  
(前年同期比)

**V字回復  
継続**

# インキュベーション事業の概況

# ブロックチェーン領域の受託実績を積み上げ 新規サービスの立ち上げを狙い、積極的に成長投資



## ■ 受託研究

### NFT領域に本格参入

チューリング社と協力し、NFT分野のプロトエンドアプリケーションの開発を受託

商品化に向けて開発スタート



## ■ 先端技術の社会実装

Dapps / Defi分野にてアプリケーション開発を継続受託

- ・バーチャル株主総会システムの継続開発
- ・ステーキングシステムの継続開発



## ■ コンサルティング

eラーニングサービスと連携し、同一クライアントにUI/UXコンサルティングの提案本格化

組織経営コンサルティング / IPO支援コンサルティングを受注



## ■ 投融資事業

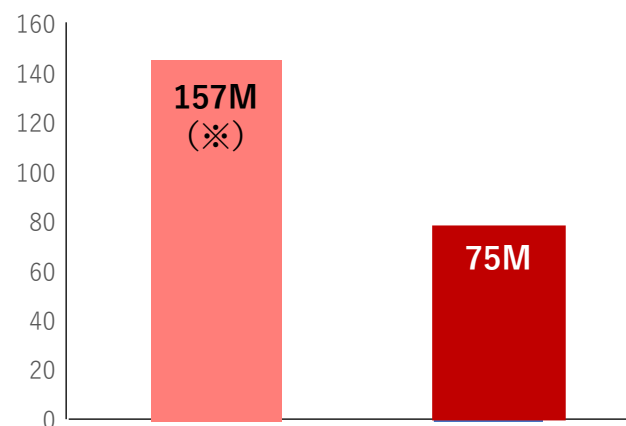
自動トレーディングシステムを積極的に活用

- ・ FSCC (=フィスココイン)
- ・ BTC (=ビットコイン)
- ・ Defi銘柄
- ・ その他

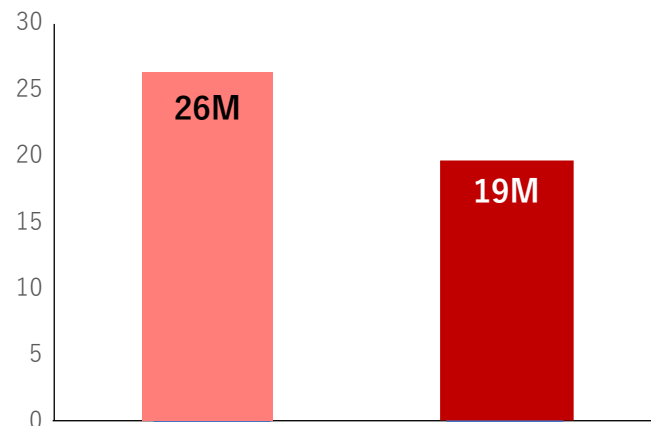
# 各収益指標にて前年実績に届かず ただし、しっかりと案件実績を積み上げ

■ FY20.Q3実績 ■ FY21.Q3実績

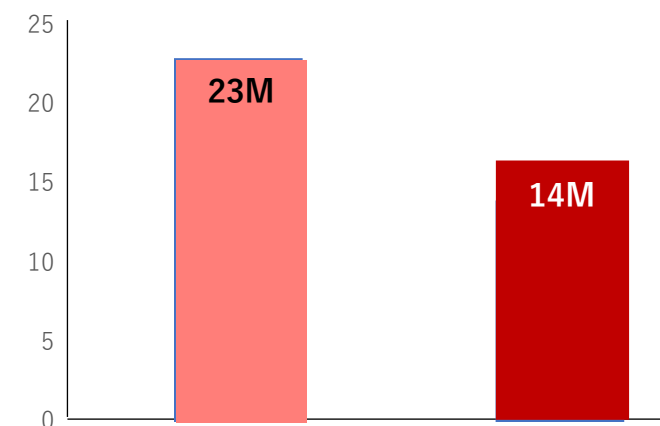
■ 売上高



■ EBITDA



■ セグメント利益



※) 2019年10月期に計上を予定していた東大・松尾研究室の受託研究売上の計上時期が期ズレし、2020年10月期に計上されております。  
出所) 社内資料

# 2021年10月期連結業績見通し

ビジョン・中期経営目標の達成

# 業態のトランスフォームを力強く推進

1

積極的に成長投資／事業規模を拡大

M&Aを積極展開

案件の継続精査中

既存事業の自律成長

選択と集中を継続

2

組織基盤／人材採用の強化

ストラクチャー  
の最適化

FY21の上期に実行完了

人材の確保  
人材への投資

継続投資

新型コロナウイルス感染拡大によるマクロ経済環境の変化が不透明であり、また、当社グループは進行期においてM&Aを中心に業態のトランスフォーメーションを一気に推進していく方針であります。

そのため、2021年10月期の業績予想については、本決算短信を公表する時点では信頼性の高い業績数値を的確に算出すること困難であるため、記載しておりません。

通期業績予想については、合理的に算定が可能になった時点で公表する予定であります。

# MSSOによる資金調達



|          |            |   |
|----------|------------|---|
| 目的       |            | 暗号資産運用事業を拡大する   |
| 資金使途     |            | 暗号資産の運用   |
| 発行概要     | 想定調達額      | 759,585,200円  |
|          | 新株予約権の個数   | 18,600個（新株予約権1個につき、100株）  |
|          | 潜在株式数／希薄化率 | 18,600,000株／（24.83）%  |
|          | 行使可能期間     | 2021年8月31日から2023年8月31日まで  |
| 行使価額     | 当初行使価額     | 414.9円（2021年8月11日の終値461円の90%）   |
|          | 上限行使価額     | 定めない  |
|          | 下限行使価額     | 231.0円（2021年8月11日の終値461円の50%、小数点以下切上）   |
|          | 行使価額の修正    | 行使日直前取引日の東証終値の90%に相当する金額（少数第2位を切上）  |
| 行使停止要請条項 |            | 当社の任意で行使の停止期間や行使個数を設定可能   |
| 買戻条項     |            | ①下限行使価額を10連続取引日下回った、または、②新株予約権の一部を行使せずに行使可能期間が経過した、等の事象が発生し割当先から買い戻しの請求を受けた場合     |
| ロックアップ   |            | 本新株予約権が残存している期間、追加的な株式の発行や売出を行う場合に割当先と協議の上で決定する（但し、資本提携およびM&A目的等、ストックオプションの場合を除く） |
| 割当先      |            | WCP / I 投資事業組合  |

※想定調達額は、当初行使価額（発行決議日の直前取引日の終値461円の90%）に基づき算出。

※詳細は、2021年8月12日付プレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付株式会社クシム第9回新株予約権（停止要請条項付）の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

# 株式会社CAICAの株式交付による 連結純資産の増加

# 株式交付が成立。当社の連結純資産は増加する見通し

■ 2021年8月31日東証終値を基準とした場合のCAICA株式の参考評価額

注) 下記は、2021年8月31日の東証終値を基準として算出した参考値であり、当社の2021年10月期決算における連結純資産の増加額ではありません。

|                              |              |
|------------------------------|--------------|
| 当社および連結子会社が保有するCAICA株式       | 2,210,232株   |
| 2021年8月31日のCAICAの東証終値        | 204.0円       |
| 当社および連結子会社が保有するCAICA株式の参考評価額 | 450,887,328円 |

※) 交付されたCAICA株式を市場等を通じて売却し、売却益が発生した場合には特別利益として計上することを見込んでおります。  
出所) 開示資料

# 株式会社FLOCの固定資産取得の件

## 「FLOC ブロックチェーン大学校」としてブロックチェーン技術者の育成スクールの運営を事業展開

|       |   |
|-------|---|
| 商号    | 株式会社FLOC  |
| 本社所在地 | 東京都千代田区丸の内3丁目1番1号                                       |
| 創業・設立 | 2018年4月2日   |
| 資本金   | 100百万円  |
| 代表者   | 代表取締役 泉 正人<br>ブロックチェーン技術者の育成スクールの運営                     |
| 事業内容  | 企業研修カリキュラムの構築および企業に対する研修事業<br>コンサルティング事業                |
| 関連会社  | 日本ファイナンシャルアカデミー株式会社<br>一般社団法人 日本ブロックチェーン推進協会 (BCCC)     |
| 加盟法人  | 一般社団法人 日本ブロックチェーン協会 (JBA)<br>一般社団法人 日本仮想通貨ビジネス協会 (JCBA) |



ビジョン

VISION  
ブロックチェーンを用いた  
改ざんのないクリアな社会を築く

ミッション

MISSION STATEMENT  
**CREATE CREATORS**  
未来を創る人をつくる

# ブロックチェーン技術の基礎から上級者まで体系的に網羅 エンジニアからビジネスパーソンまで全方位的に学べる教育体系 を獲得

| 取得対象                                  | 内 容  |
|---------------------------------------|--|
| <p>★<br/>ブロックチェーン技術者<br/>育成カリキュラム</p> | <p>ベーシックコース（テキスト・動画・著作権など一式）<br/>                     ビジネスコース（テキスト・動画・著作権など一式）<br/>                     エンジニアコース・ブロックチェーン実装（テキスト・動画・著作権など一式）<br/>                     エンジニアコース・スマートコントラクト実装（テキスト・動画・著作権など一式）</p> |
| <p>商標権</p>                            | <p>FLOC Agent（登録商標 第6236347）<br/>                     ブロックチェーンEXPO（登録商標 第6236347）</p>  |
| <p>その他</p>                            | <p>Webサイト<br/>                     Webドメインならびに本件サイトなどに付随する著作権</p>  |

## ブロックチェーン教育では、当社が圧倒的な優位性を獲得

|                      | 当社                                | A社                       | B社                              | C社                         | D社                                 | E社                         |
|----------------------|-----------------------------------|--------------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------------------------|----------------------------|
| ブロックチェーン<br>カリキュラム   | ◎<br>基礎～エンジニア上級まで<br>カバーしたオリジナル教材 | △<br>市販教材を利用             | △<br>一般的なカリキュラムの<br>1パートとして教材提供 | ×                          | ○<br>エンジニア・ビジネス向け<br>カリキュラムの密度は低い  | ×                          |
| 受講生数                 | ○<br>ブロックチェーン分野では<br>No.1         | △<br>ブロックチェーン分野は少数       | △<br>ブロックチェーンは少数                | △<br>ブロックチェーンはごく少数         | ○<br>ブロックチェーンエンジニア<br>が多数          | ×                          |
| 人材ビジネス<br>(転職サポート)   | ○<br>ブロックチェーン企業向けに<br>特化した実績あり    | ○<br>エンジニアとビジネス<br>の実績あり | ○<br>卒業生および卒業生以外<br>の人材紹介       | ×                          | —<br>人材紹介事業は展なし                    | △<br>ブロックチェーン企業は<br>ほぼ無し   |
| ブロックチェーン別<br>のマーケット層 | ◎<br>初心者からエンジニア上級ま<br>でカバーする      | △<br>ブロックチェーン初心者向け       | △<br>ブロックチェーン初心者の<br>エンジニアのみ    | △<br>ブロックチェーン初心者のみ         | ○<br>ブロックチェーンエンジニア<br>スタートアップの囲い込み | ×                          |
| 受講スタイル               | ◎<br>対面＆オンラインの選択可<br>サポートも充実      | △<br>オンラインのみ<br>サポートはあり  | ○<br>教室受講とWebの選択可<br>サポートも充実    | ◎<br>対面＆webの選択可<br>サポートも充実 | ○<br>自社のワーキング内で<br>展開している          | ◎<br>対面＆webの選択可<br>サポートも充実 |
| 講師陣                  | ◎<br>業界でもトップクラスの<br>講師陣をラインナップ    | ○<br>現役エンジニア             | △<br>一般講師                       | ○<br>卒業生のメンターが対応           | ○<br>現役エンジニア                       | —                          |
| 受講料                  | ◎<br>非常にリーズブルな価格へ                 | △<br>業界にて高めの価格設定         | △<br>業界にて中位な価格レンジ               | ○<br>業界にて中位な価格レンジ          | △<br>業界にて高めの価格設定                   | —                          |

本書は、株式会社クシムに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。これらの記述は、当社が本書の作成時点において入手した情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。

これらの記述のためには一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述、または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポート等をご参照ください。

本書における将来に関する記述は、本書の作成時点のものであり、本書の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本書を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本書における当社以外の企業等にかかわる記述は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社はこれを保証するものではありません。本書で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本書にかかる一切の権利は、株式会社クシムに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。





**Kushim**

株式会社 クシム

**End**

2021年9月10日